

SAFESLIDER[®]

LIFE LINE SYSTEM

取扱説明書



安全帯と墜落防止器機のタイタン
サンコー株式会社

はじめに

このたびはセーフスライダーをご採用いただき、誠にありがとうございます。

本書には、製品の正しい使い方や使用上の注意が記載されています。全体の内容をご理解いただいた上で製品をご使用ください。お読みになった後は、必ず保管してください。

サンコー株式会社

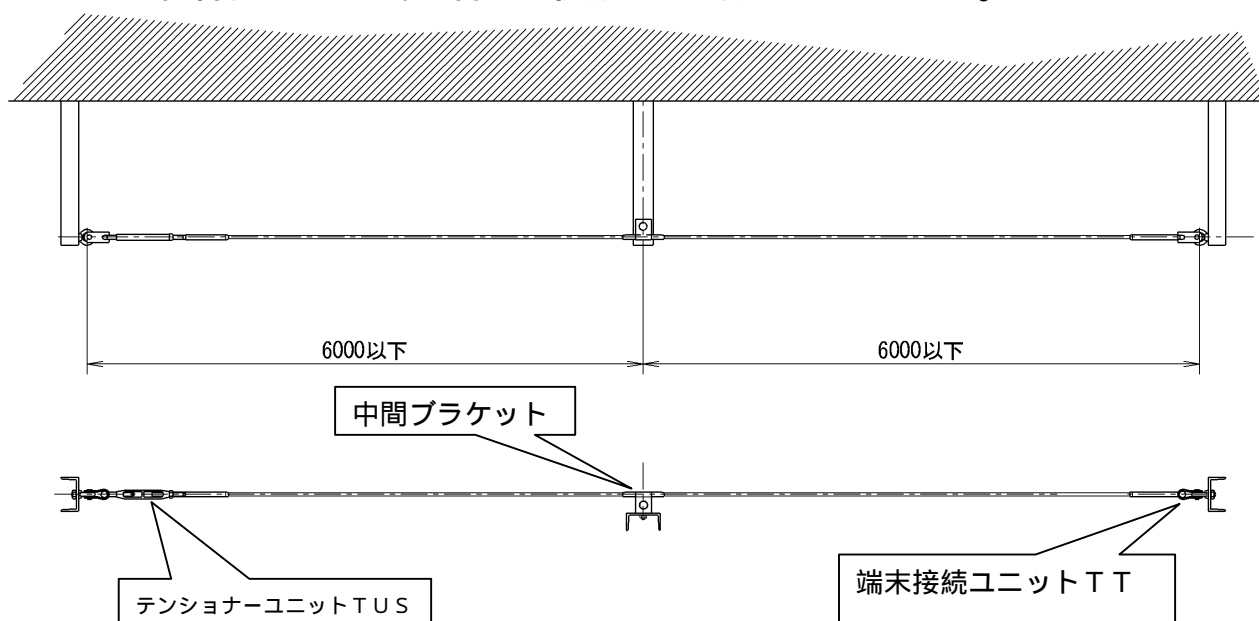
目次

製品システムの概要	P.2
部品の性能と名称	P.3
使用前の点検	P.4
使用方法	P.5～6
墜落阻止後の救助	P.7
使用禁止事項	P.8
保守・点検	P.9～10

製品システムの概要

セーフスライダーは、墜落を阻止し、かつ身体へのダメージができる限り軽減されるように設計されています。同時に、高所作業に於ける作業・移動スペースを制限することも可能です。

セーフスライダーは、両端を建造物の壁面や構築物の一部に固定した水平張りのワイヤーロープ親綱を作業エリアに設置し、この親綱全体の長さに対して中間ブラケットを6 m以内の間隔に設けることで、体重 120 k g の作業員 2 名（リトラクタ使用の場合は作業員 3 名）が同一システム上で墜落しても落下を阻止します。また、設置高さは、作業員の移動位置との関係により多様な状況に対応できます。



部品の性能と名称

破断強度が 80 k Nを上回る直径 12mmの専用ステンレスワイヤーケーブルは、端末等の接続箇所でも、ロールスエージングと呼ばれる特殊圧着加工によって、その強さが殆ど損なわれません。ワイヤーケーブル以外の構成部品にもごく一部のパーツを除きステンレス材を採用していますので、錆びに強く耐衝撃性にも優れ、過酷な環境下でも取り付け・使用が可能です。また、体重 120 k gの作業員 2 名が同一システム上で墜落しても、安全に落下を阻止します。(リトラクタ使用の場合は 1 ライン作業員 3 名まで可能)



端末接続ユニット (TT)



テンショナーユニット (TUS)



中間ブラケット (B)



S S 140 型 セイフリンク (SL)



コーナーユニット



BH - 250
(リトラクタ仕様の一例)

使用前の点検

1. 安全帯の点検 = ベルト・ロープ・金具に異常がないことを確認してください。
詳しくは、安全帯に付属されている取り扱い説明書を参照してください。

2. ショックアブソーバとランヤードの点検・廃棄基準

(a) ショックアブソーバのベルトに、3mm以上の摩耗・擦り切れ・切傷・焼傷・溶融が発生していないこと、カバーが破れてベルトが露出している等の異常がないことを確認してください。

(b) ランヤードに切傷・焼傷・溶融・摩耗・キンク・型崩れ・さつま編み込み部の抜けやゆるみ等がないことを確認してください。

(c) 金具類（フック・三角環・カラビナ）に目視でわかる変形や深さ 1mm以上の傷がないこと、リベットカシメ部の摩滅や錆びがないこと、フックバネの折損・脱落やフックカバーの作動不良等の異常がないことを確認してください。

カラビナ・三角環の安全環は確実に閉めください。閉まっていないと、強さが半減します。

ロープ仕様の一例



リトラクタの点検 = 外観・ランヤード・ロック機構に異常がないことを確認してください。

詳しくは、リトラクタに付属の取扱説明書を参照してください。

⚠ 異常を発見した場合は、使用しないでください。

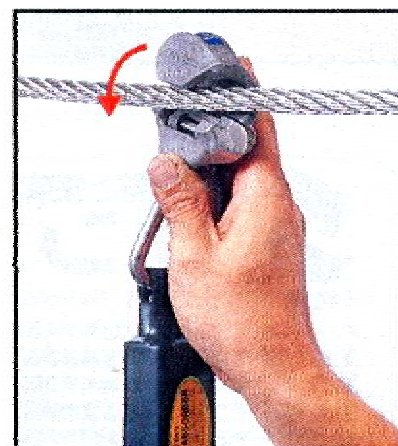
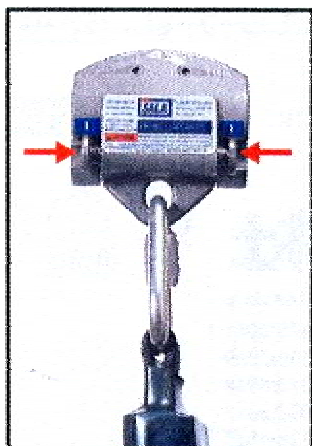
使用方法

1. S S 140 型セイフリックをセイフスライダーのワイヤーケーブルにセットする。

左右 2ヶ所の開放ボタンを
同時に押す

カバーを開く

任意の位置で取り付け



カバーを完全に閉
鎖し、左右の開放
ボタンが『カチッ』
という音がする事
を必ず確認して下
さい。




カバーを確実に閉めて完了

カバーが開いた状態

注意事項

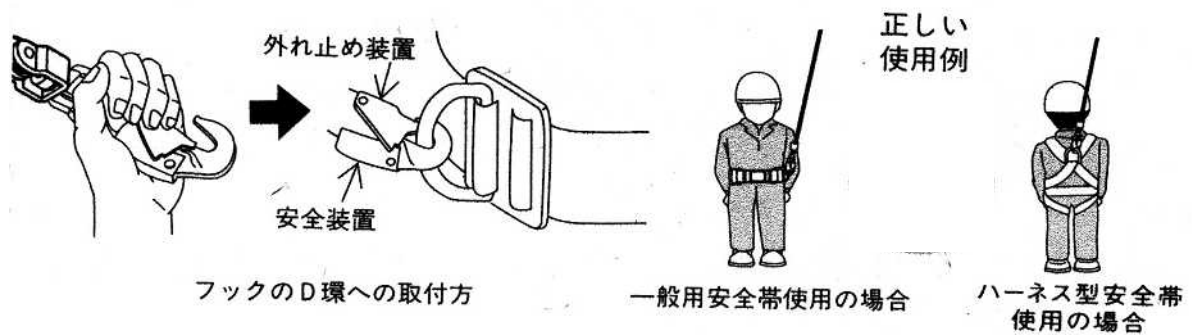
セイフリックは、中間ブラケットに対して開口部を向ける方向に取り付けてください。逆向きで取り付けると、中間ブラケットを通過しませんので、ご注意ください。



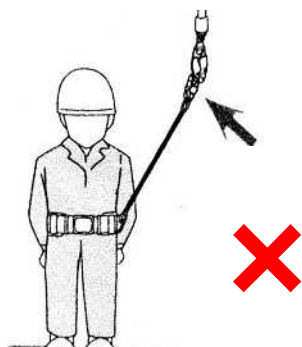
裏側のカバーを完全に閉じると開放ボタンは『カチッ』と音をたてて左右ともに  マークのロック位置に戻ります。

左右 2ヶ所の開放ボタンの位置にご確認ください。確実にカバーを閉め、開放ボタンの位置をご確認ください。

2. セイフリンクに接続されているショックアブソーバ付きランヤード、またはリトラクタのフック（カラビナ）安全帯への接続



フックまたはカラビナは必ず安全帯のD環に直接掛けてください。



フック同士を連結したり、誤って工具ホルダーに掛けたりしないでください。

墜落阻止後の救助

セーフライダーは、その安全性や実用性においてもっとも進んだ水平親綱システムと言えますが、セーフライダー自体は墜落を阻止するものであって、宙吊りになった作業者を引き上げて救助する機能は備えていません。

従ってシステムをご採用いただいた現場で、万一の墜落発生を前提として、必要に応じたその際の救助用具を別途準備していただき、事故発生時の具体的な対応手順を想定・訓練しておいていただくようお願いいたします。

また、高所作業が行われる場合の一般的な要件として、単独作業はできるだけ避けて、万一の場合には他者が事故に気づき救助または連絡を行えるよう配慮することが重要です。

使用禁止事項

セイフスライダーに下記の異変が発生した場合は、継続使用できません。

記

1. 火災にあったもの
2. 強酸性の液体・気体等、素材に有害な作用を及ぼす化学物質により汚染されたもの。
3. 溶接のスパッタによって、ワイヤーケーブルやその他のパーツに焼痕などの異常があるもの。
4. 墜落事故や同等の荷重が掛かったもの。
5. パーツに変形・破損があり正常に機能しないもの。
6. ワイヤーケーブルに素線切・キンク・型崩れ等の異常があるもの。

このような異常があった場合は即使用を禁止し、メーカーによる取り替え修理・点検を受けてください。

保守・点検

・セーフスライダの定期点検については、設置環境や使用頻度に差異があるため、一律で何年（何ヶ月）に一度と言う取り決めはできません。
日常の点検結果等により判断していただき、その上でメーカーと相談し決定していただくことを、お奨めします。

・点検の方法としては、ウエスに潤滑油（CRC - 556等）を塗布しワイヤーケーブルや各部品をクリーニングする。塩害や錆を起している所は、ワイヤーブラシで擦り潤滑油を塗布

・アイボルト・中間ブラケットのボルト・ナットに緩みがないことを確認
パーツに変形がないことを確認

・ワイヤーケーブルに余分な弛みがある場合は、テンショナーユニットで緊張
緊張力のトルク目安として、取り付けスパン間に弛みが無い程度にモンキースパナで緊張
使用工具はモンキースパナとスパナ（No.15）

スエージ（ワイヤー圧着部）の切溝（下図）にスパナ（No.15）を必ず掛ける事。掛けずにターンバックルを回すとワイヤーケーブルが膨らんだり反対側の端末金具が外れたりする恐れがありますので必ずスパナ（No.15）を掛けて緊張して下さい。



モンキースパナを掛けたままロックナットをスパナ（No.24）で締め付ける。ターンバックルに割りピンを入れて完了。

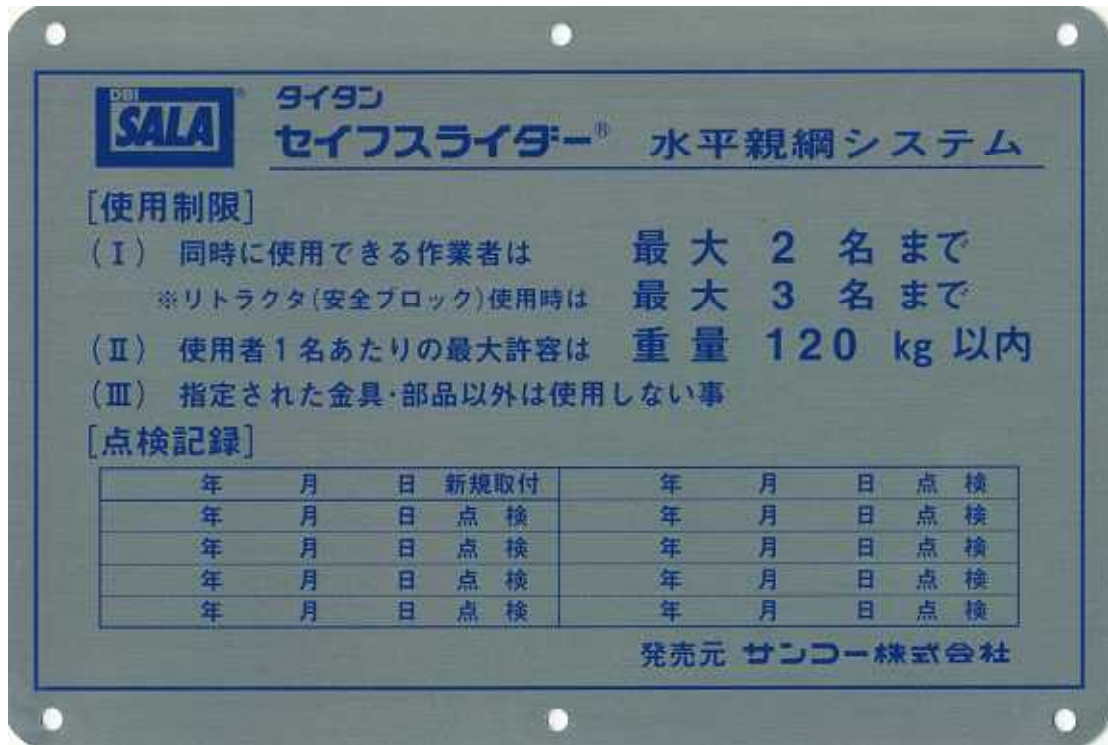
使用工具はスパナ（No.24）とモンキースパナ

ロックナットと割りピンの作業は必ず行ってください。ロックされていない場合、テンションの緩みの原因になります。



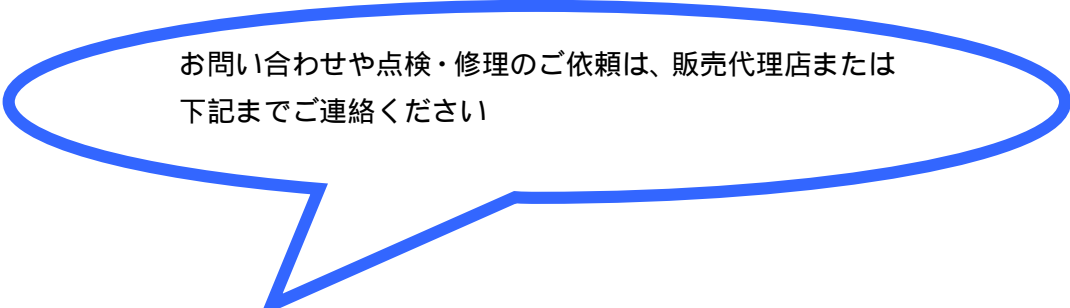
写真の様に割りピンを入れラジオペンチ等で折り曲げる。

使用制限・点検記録を記載している説明板は、この度設置された現場の出入り口扉等のよく目立つところに固定・掲示し、使用者の目にとまるよう配慮してください。



説明板

自主点検される場合には、付属のメンテナンスに関する資料を参照してください。



TITAN 安全帯と墜落防止機器の**タイタン**
サンコー株式会社

日本工業規格表示認定工場 No.565002 JIS M7624安全帯 <http://www.sanko-titan.co.jp>

本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06(6394)3541代表 FAX.06(6395)0041
 東京支店 〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目8番18号 TEL.03(3352)5404代表 FAX.03(3350)5320
 九州営業所 〒814-0164 福岡市早良区賀茂4丁目6番28号 TEL.092(873)0392 FAX.092(873)0948
 名古屋営業所 〒456-0056 名古屋市熱田区三番町22番15号 TEL.052(653)5770 FAX.052(653)5810
 北海道出張所 〒004-0001 札幌市厚別区厚別東一条5丁目12番23号 TEL.011(898)4530 FAX.011(898)4530

JAB **JQA** **ISO 9001** **ISO 14001** **ISO 45001** **ISO 28000**
 R009 ISO 9001 認証 JQA-2890